

ベネズエラの最新動向(12月16日～12月31日)

I. 政治・経済

1. ベネズエラの2007年実質GDP成長率 8.5%

- 12月23日、Rodrigo Cabezas 財務大臣は、2007年第4四半期の実質GDP成長率が8.8%、年間で8.5%と発表。
- 経済成長見通しは引き続き強いが、需要と供給のバランスが大幅に崩れていく傾向にあるため、インフレ率の増大、輸入品への依存はさらに進むと Goldman Sachs 社等、ウォール・ストリートのアナリストは見込んでいる。
- 2005年・2006年の実質GDP成長率10.3%を、本年は下回ったことになる。

II. 外交

1. チャベス大統領、第4回ペトロカリベに参加

- 12月21日、カリブ海諸国や中米の首脳らが、キューバ中部シエンフエゴスで開催の第4回ペトロカリベに参加するために集結した。
- ベネズエラのチャベス大統領は、原油輸入債務を代替商品等で返済する制度の導入を奨励。また、代替エネルギーの開発、原油精製能力の増大を地域のエネルギー統合推進のための目標として掲げた。
- ペトロカリベはチャベス大統領の提唱で2005年に設立。原油価格が高騰する中、有利な条件で石油をカリブ海諸国に提供し、ベネズエラの影響力拡大を目指すもの。ベネズエラは各国に石油を市場価格の六割で供給し、残り40%を低利・長期のクレジットで提供。

III. 石油、その他の資源セクター

1. フィッチがCitgoの格付けをBB-に格下げ

- 12月19日、米格付機関のフィッチは、PDVSAの子会社であるCitgoの発行体デフォルト格付け(IDR)をこれまでの「BB」から「BB-」に格下げした。
- フィッチが本措置をとったのは、Citgoが親会社PDVSAへの10億ドルの融資を同額のブリッジ・ローンで充当することを発表した後のことである。これは、Citgoが今までに引続き、PDVSAに財政補填させられることを懸念したフィッチの長期的見通しを反映した動きである。
- PDVSAはこの融資を Hamaca、Cerro Negro の合併プロジェクト(オリノコ超重質油開発プロジェクト)のターム・ローン支払や債権の買戻しに充当する予定。

2. ベネズエラがコロンビアへの天然ガス供給契約に合意

- 12月24日、PDVSAのガス関連の子会社は、コロンビアのEcopetrol社に天然ガスを供給する契約に合意した。
- 本契約により、2012年から2027年までの間、ベネズエラはコロンビアに390万立方m/dの天然ガスを供給することになる。
- 2007年10月12日、ベネズエラとコロンビア間の天然ガス輸送パイプラインが開通し、2008年1月から輸送開始の予定。

3. オリノコ超重油開発プロジェクトへの新規参入企業の選考開始

- 12月28日、エネルギー石油省は、PDVSAと合併でオリノコ超重油開発プロジェクトに新規参入する企業の選考を始めると発表した。
- PDVSAは新規合併プロジェクトを推進することにより、現在の生産量60万b/dを5年以内に200万b/dにする目標を表明。
- PDVSAはコストがUS\$8/b、価格はUS\$100/b近くになると見込んでいる。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。